



【指導事例 1】

1 主 題 「困難を乗り越える」〔希望と勇気、努力と強い意志〕

2 ねらい

自分の目標に向かって、勇気をもって困難や失敗を乗り越え、努力しようとする意欲や心情を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、人一倍の努力によって昭和の大横綱と称された大鵬幸喜の生き方に触れることを通して、困難や失敗を乗り越え、努力しようとする意欲や心情を育むことをねらいとしています。
前半では、大鵬が相撲部屋に入門した16歳から幕下に昇進するまでの努力の様子や地元弟子屈町の声援を受け真摯に相撲道に励む様子が示されています。
後半では、大鵬が横綱に昇進し、引退した後に語った大鵬の思いに触れ、強くなるために徹底して稽古を続けた様子が示されています。
指導に当たっては、困難にくじけず、強い意志をもって努力し続けることの道徳的価値について自分との関わりで捉えたり、他者との対話を通して考えを深めていくことが重要です。

4 展開例—①「人一倍の努力によって昭和の大横綱になった大鵬の生き方を通して、困難があっても粘り強く努力することについて考える展開」

| | ●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される子どもの反応 | ・指導上の留意点（■評価） |
|----|---|---|
| 導入 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自分が「努力した」経験について話し合う。 ○ 自分がこれまでに「努力した」と思う経験にはどのようなことがありますか。また、その時にどんなことを考えて頑張りましたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・サッカーチームで、シュートの練習をした。練習はつらかったけれど、上手になりたいと思って頑張った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。 |
| 展開 | <ul style="list-style-type: none"> ● 教材「昭和の大横綱」を読み、話し合う。 ○ 大鵬が「天才といわれるのが非常に嫌い」だったのはなぜでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・「天才」と言ったら「努力もしないでできた」という感じがするけれど、大鵬はものすごく努力をしたから、そう思われなくなかったのだと思う。 ・横綱になるまでにすごい努力をして「自分には相撲しかない」という気持ちで頑張ったので「天才」という言葉で片付けられなくなかったのだと思う。 ◎ 大鵬の「努力」を支えたものは何だったのでしょか。 <ul style="list-style-type: none"> ・家族や弟子屈の人々の応援があったからだと思う。勝つことでみんなを喜ばせたかったのではないかな。 ・横綱になるという夢をかなえるために努力したのではないかな。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ● 「努力」について自分との関わりで考える。 ○ 導入で考えた自分がこれまでに「努力した」と思う経験の中で、自分の「努力」を支えたものは何だったのでしょか。 <ul style="list-style-type: none"> ・サッカーチームの仲間からの励ましがあると思う。 ・自分の夢をかなえることや目標を達成するといった強い気持ちなのではないかな。 | <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が困難に打ち勝ち、目標を達成したことに対する思いについて考える場を設ける。 ・登場人物が努力し続けたときの考えや気持ちを多面的・多角的に議論し、価値理解・他者理解を深めることができるようにする。 ・自分の生活や生き方を振り返り、自己理解を深めさせる。 ■ 高い目標を立て、努力することについて、自分の経験を基に考えている。 |
| 終末 | <ul style="list-style-type: none"> ● 教師の説話を聞く。 ※高い目標を立て、実現に向けて努力し達成した人や、成功者の失敗体験談、又は教師自身の経験などについて話をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・困難があってもくじけずに努力しようとする心情が育まれるようにする。 |

【指導事例 2】

1 主 題 「困難を乗り越える」〔希望と勇気、努力と強い意志〕

2 ねらい

自分の目標に向かって、勇気をもって困難や失敗を乗り越え、努力しようとする意欲や心情を育む。

3 展開例—②「人一倍の努力によって昭和の大横綱になった大鵬の生き方を通して、やるべきことはしっかりやり抜く忍耐力について考える展開」

4 主な学習活動

(1) なぜ「素直さ」が武器になるのでしょうか。

- ・決めた目標の達成のために一生懸命取り組もうとするから。
- ・言われたことや決められたことを聞き入れて取り組むから。
- ・手を抜かずに練習することで自分が成長できるから。

(2) 「人生の重み」とありますが、この「重み」とは何の重さなのでしょう。

- ・支えてくれる人たちの気持ち。
- ・自分が活躍することで応援してくれている人達に与える影響。
- ・日々の稽古や1戦1戦の積み重ね。

(3) 「にぎりしめた拳」の中にはどのような思いが握られているのでしょうか。

- ・支えてくれている人たちを裏切ってはいけないという思い。
- ・このままではいけない。もっと稽古しなければならないという気持ち。
- ・目標の達成に向けて、最後までやり抜く決意が表れている。

□ 活用場面例（道徳科以外での活用事例）

■ 国語科

読むことの学習において、大鵬の生き方や人生等を描いた本教材を読むことを通して、自分を見つめ直し、自分の生き方について考えることができるようにする。また、大鵬の行動や生き方と、自分の経験や考えなどとの共通点や相違点を見付けることを通して、共感するところや取り入れたいところなどを中心に考えをまとめることができるようにする。

■ 特別活動（学級経営）

一人一人のキャリア形成と自己実現に関する指導において、大鵬の将来への夢や憧れをもち挑戦しようとする生き方に触れることを通して、児童が自己の生き方との関わりで考え、目標に向けて努力することやよりよい解決に向けて行動することの大切さについて、考えを深めることができるようにする。

■ 家庭や地域との連携

学級通信等において、本教材を活用した学習の様子を家庭に伝えるとともに、家族と一緒に現在や将来を見通した生活や学習に関する課題について振り返ってもらうよう依頼し、課題の解決や将来に向けて努力しようとする実践意欲を一層高めることができるようにする。